

中学1年生が「高志学」外部講師リレー講座①を行いました

令和5年6月15日（木）に、1年生が本校若葉食堂で外部講師リレー講座①を行いました。仁愛大学人間学部コミュニケーション学科特任教授、南保 勝先生をお招きして「福井県の経済と産業・企業」というテーマで講演をいただきました。

自分たちが住むよく知っている福井であっても知らないことが多く、新しい発見に気づき生徒は驚きの声を上げていました。福井は昔から全国の各地をつなぐ拠点としての役割を担っておりローカルだけどグローバル（グローカル）な地域であること、自然が多く農業圏であるイメージが強いが、実は工業が発達していることを明治期から遡ってお話いただくことで、生徒は納得しながら学んでいました。

福井の労働特性として、全国でも離職率が低く、女性の正規社員比率や共働き率は全国トップで女性が活躍できる県であるということもデータをもとに知ることができました。

南保先生から「地域を育てるために信じる力、許す力、人を大切にする力などの人間力を養って欲しい」というメッセージを受け取った生徒たちが深くうなずいていたのが印象的でした。



[生徒の感想]

- ・福井県は陰で日本を支えていくと思っていたけれど、昔は日本を引っ張って行く存在でもっと福井県に誇りを持っていきたいと思いました。勤勉で粘り強い県民性は地域風土だけでなく、宗教や歴史が関係していることを知り、勤勉性は福井人の宝だと分かりました。
- ・福井県の経済、産業、企業は歴史から生まれたものだと強く感じました。特に北前船により、福井が広域ネットワークの拠点としての役割を果たしていたことが印象に残りました。
- ・福井の人は勤勉で、粘り強く、働く女性が多いことを初めて知りました。収入の多くを貯金していて、支出を少なくする工夫をしていることも興味深かったです。